

NEW / 「長浜・御豊瀬・浦戸」の地域おこしだより

新里海かわら版

VOL.

1



特集

長浜・御豊瀬・浦戸に賑わいと活気を取りもどす



長宗我部元親初陣の像

地域おこしを進めようと結成された地元有志らによって、1999（平成11）年に建立された銅像は、1560（永禄3）年、22歳で初陣を迎えた元親が合戦に挑む前夜、若宮八幡宮に陣取った勇姿を表現しています。



高知市長浜・御豊瀬・浦戸地域振興計画

長浜・御豊瀬・浦戸に賑わいと活気を取りもどす

出生率の低下や若者世代の転出超過、高齢化による労働力人口の減少、人口減少に伴う空き家の増加——。長浜・御豊瀬・浦戸地域が抱える多くの課題。まちに灯りをともし続けるために、私たちができることは何か。昔ながらの歴史や文化が色濃く残るこの地域に、再び賑わいと活気を取りもどすための取り組みが始まった。

日々の生活の中で、私たちが人口減少を実感することは少ないかもしれませぬ。しかし、その足音は静かに、そして確実に進行しています。高知市が消滅可能性都市に指定されることはありませんでしたが、本市においても2010年をピークに人口は減少に転じており、今後

2014（平成26）年、「消滅可能性都市」という言葉が全国の自治体に衝撃を与えました。流行語大賞にまでノミネートされた消滅可能性都市。2010（平成22）年からの30年間で20〜39歳の女性の人口が5割以下に減少する可能性がある自治体を指すものです。有識者らで構成された「日本創成会議」が提唱し、全国市区町村の約半数となる896自治体が指定されました。

消滅の危機を回避せよ



浦戸漁港

も減少していくことが予測されています。

長浜・御豊瀬・浦戸地域では、本市全体よりも10年早く、人口減少が進んでいます。消滅が危ぶまれている中山間地域と同様に人口の減少率は非常に高く、人口減少に歯止めがかからない状況が続いています。

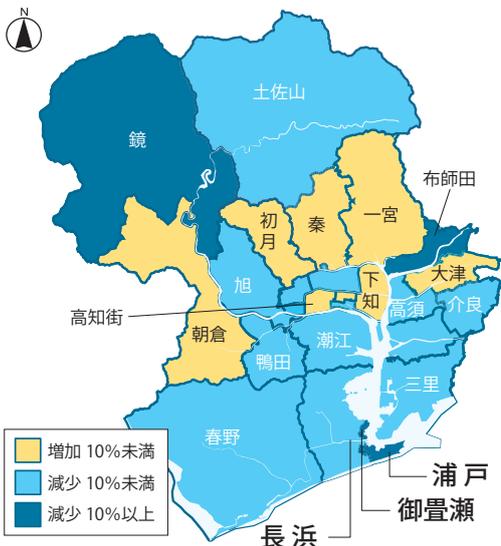
このまま人口減少が進むと、地域は一体どうなるのでしょうか。

人口が減少すると、経済規模が縮小・停滞し、安定した仕事を求めて若者が流出。結果、加速度的に人口減少へとつながり、負の循環に陥ります。次第に地域から店や病院が消え、気がつけば賑わいが消え、そして人が消え、最終的に集落は消滅の一途をたどります。この負のスパイラルを断ち切るために、確かなビジョン（目標）を持ち、地域全体で取り組まなければ「消滅」の足音はすぐそばまで近づいてきます。

高知市長浜・御豊瀬・浦戸地域振興計画 (2020～2024年)



長浜・御豊瀬・浦戸地域の振興に向けて重点的に取り組んでいくために、住民や学生等の皆さんからご意見をお聞きし、2020（令和2）年3月に策定しました。



Q 長浜・御豊瀬・浦戸地域の人口ってどのくらい減ってるの？

平成22年と平成27年の人口増減率をみると、市内中心部では一部増加傾向にあるものの、中山間地域や南海トラフ地震による津波被害想定地域では減少傾向にあります。特に、御豊瀬地域の増減率は▲18.0%と市内で最も高く、次いで浦戸地域が▲13.1%となっており、少子高齢化や空き家等の増加なども大きな課題となっています。

大街別人口増減の状況 (平成22年→平成27年 国勢調査／一部地域抜粋)

高知街	3.1%	朝倉	0.5%	鴨田	▲1.9%	高須	▲5.3%	鏡	▲11.1%
初月	2.1%	秦	0.5%	長浜※	▲2.2%	三里	▲5.4%	布師田	▲12.8%
大津	1.6%	一宮	0.2%	介良	▲4.1%	春野	▲5.8%	浦戸	▲13.1%
下知	1.3%	旭街	0.0%	潮江	▲4.4%	土佐山	▲6.7%	御豊瀬	▲18.0%

※長浜の計画対象地域の人口増減率は▲6.9%（平成22年→平成27年 住民基本台帳10月現在比較）

Q

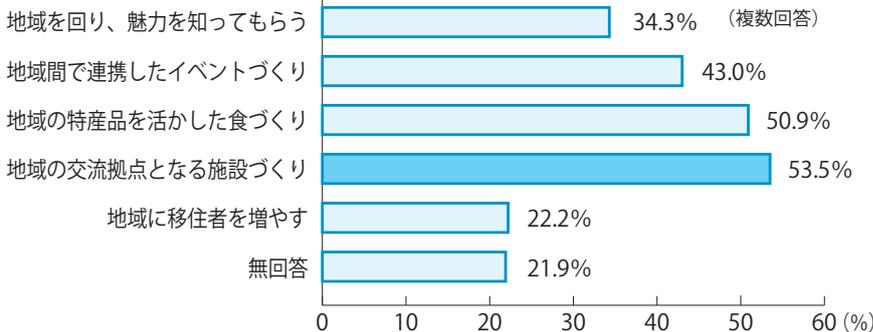
3地域が連携して行う取り組みで有効と思われるものは？

長浜・御豊瀬・浦戸地域の活性化についてのアンケート調査結果より
(長浜・御豊瀬・浦戸地域活性化協議会実施)

住民アンケートでは拠点づくりのニーズが最多

平成31年1月、長浜※・御豊瀬・浦戸地域に居住する世帯を対象に、地域活性化策のニーズを把握するためのアンケート調査を実施したところ、「地域の交流拠点となる施設づくり」を望む意見が最も多く、半数を超えていました。

※ 横浜・瀬戸・横浜新町・長浜蒔絵台を除く。調査結果はこちら▶



地域に賑わいと活気を

「最近、子どもたちの声が聞こえなくなって寂しい」「シャッターが降りた店舗が急に増えた」「地域でイベントをしてもなかなか人が集まらない」。

長浜・御豊瀬・浦戸地域の住民の皆さんから、そんなため息交じりの声が聞かれます。

高知駅から車で約30分。長浜・御豊瀬・浦戸地域は決して不便な場所ではありません。雄大な海、歴史を感じる街並み、独特の文化、美味しい食、学校や観光資源もあります。

ある住民は「南海トラフ地震が心配だから、住んでもらうのは厳しいかもしれない」と言います。

高知市長浜・御豊瀬・浦戸地域振興計画

3地域の将来像

歴史や風土を活かし、
住む人・訪れる人に
笑顔があふれるまち



歴史と文化が
人をつなぐまち
長浜

愛され住みたい、
潮香るまち
御豊瀬

波の音と笑い声
が聞こえるまち
浦戸

地域振興を進めるための6つの方策

<p>方策1</p> <p>賑</p> <p>地域の賑わいあふれる企画づくり</p>	<p>方策2</p> <p>食</p> <p>地域の食を活かした産業の活性化</p>	<p>方策3</p> <p>巡</p> <p>地域を巡り魅力を知ってもらう</p>
<p>方策4</p> <p>場</p> <p>にぎわいと交流の場づくり</p>	<p>方策5</p> <p>伝</p> <p>歴史と文化を伝え、次代につなぐ</p>	<p>方策6</p> <p>育</p> <p>地域の愛着を育むひとづくり</p>

いきなり人口を増やすのは難しい。それならば、まずは交流人口や関係人口(※)を増やすことから始めてみませんか。地域の魅力を発信して、ファンや来訪者を増やすことも大切です。

また、別の住民は「地域に若い人たちが活躍できる場がない」「本当は何かしたいと思っているけど、できることが分らない」と言います。

だったら、みんながワイワイと集まれる場をつくってみませんか。人が集まることで、きっとあなたにもできることが見えてきます。

消滅させないという思いと人の力が、賑わいと活気を生み出します。長浜・御豊瀬・浦戸地域に灯りをともし続けるために、できることから始めてみませんか。

※ 関係人口…移住した「定住人口」でなく、観光にきた「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことをいいます。

Q

賑わいを生み出すために、まずは何から始めるの？

promotion

広報活動

まずは長浜・御豊瀬・浦戸地域を知ってもらい、訪れてもらうことを目的に、見どころ・食どころの紹介やイベント告知など、地域振興を戦略的に進めるための「情報の拠点づくり」を、地域住民の皆さんや広報ボランティアと一緒に取り組みます。

player

人づくり

旧・御豊瀬小学校を活用した地域おこし学校「こうちみませ楽舎」の開催や、大学生の地域実習の受け入れ、広報ボランティアとの広報活動など、地域に愛着を持つ人材を発掘するとともに、地域活性化のための牽引役となる人材を育成していきます。

place

拠点の検討

地域住民の皆さんからのニーズが最も高かった地域内の「拠点づくり」について、候補地や活用方法などを検討していくとともに、長浜・御豊瀬・浦戸地域を訪れる人が、それぞれの拠点を周遊することができる仕組みを検討していきます。

地域おこし学校「こうちみませ楽舎」がプレ開校。 一緒に賑わいづくりに取り組んでみませんか。

潮の香りが漂う御豊瀬漁港から、トンネルを抜けたすぐそばにたたずむ「旧・御豊瀬小学校」。1877(明治10)年、現在の御豊瀬ふれあいセンターの位置に簡易小学校として誕生し、漁業が盛んであった昭和30年代には300人を超える児童が在籍していました。

しかし、一次産業の衰退とともに若い世代が激減し、御豊瀬小学校に通う児童数も減り続け、2011(平成

23)年度には全校児童は9人に。御豊瀬村の時代から135年間、地域子どもたちを温かく見守り続けた小学校は、平成24年3月、惜しまれながらも長い歴史に幕を閉じました。

地域の文化発祥地であり、心のよりどころでもあった旧・御豊瀬小学校。この地に再び活気と笑い声を取り戻すべく、市では校舎を活用した「地域おこし学校『こうちみませ楽舎』」の開校を計画しています。

本年度はプレ開校として、校長に漫画『釣りバカ日誌』でお馴染みの黒笹慈幾さん、講師にはNPO法人土佐山アカデミー事務局長の吉富慎作さん、観光アドバイザーの近澤真弓さんをお招きし、地域の魅力を掘り起こします。

地域おこしに興味のある方、長浜・御豊瀬・浦戸地域をフィールドに新しいことに挑戦したい方など、たくさんの方のご参加をお待ちしています。

旧・御豊瀬小学校の校舎

こうちみませ楽舎 参加費無料

10/24(土) ~ 令和3年 1/23(土)

第2・4土曜日(12月26日は除く)

対象

次のいずれかの要件を満たす方で、原則全日程に参加できる方。お住まい地域は問いません。

- ① 地域おこしに興味のある方
- ② 長浜・御豊瀬・浦戸地域で新しいことに挑戦したい方

内容

教室① 廃校再生プロジェクト(9時半~12時半)

廃校活用プランづくり

~御豊瀬小学校を手に入れろ~

NPO 法人土佐山アカデミー事務局長 吉富 慎作さん

教室② 地域再生プロジェクト(13時半~16時半)

地域を元気にするために、

住んでよし訪れてよしの観光まちづくり

観光アドバイザー 近澤 真弓さん

- 教室②は大人向けの内容となります。
- 教室①②とも、第1~6回(10月24日(土)・1月23日(土))の開催時間は13時半~16時半となります。
- 各教室とも全6回コースで、定員先着各20人。参加費無料。ただし、1月23日(土)に予定している交流会は、飲食費(実費相当)が必要となります。

申込方法

所定の申込書に必要事項を記入し、地域活性推進課までメールまたはファクス、郵送、直接持参(平日9時~17時)するか、お電話で。定員に達し次第締め切り。詳しくはホームページをご覧ください。

申込期間 ▶ 9/3(木) ~ 9/25(金) (必着)

ホームページは
こちらから▶



申込先 ▶ 高知市地域活性推進課 〒780-8571 高知市本町 5-1-45 ☎ 088-823-8813 ファクス 088-823-9382 ✉ kc-011700@city.kochi.lg.jp

さとうみ編集室

皆さま、はじめまして。今年4月に新設された高知市地域活性推進課の森田と申します。昨年度まで長浜・御豊瀬、浦戸地域で発行していました「里海かわら版」の内容・デザインを一新し、このたび「新・里海かわら版」が完成しました。年2・3回の発行となりますが、より地域に根ざしたロケール広報紙として、皆さまと一緒に地域の特産を掘り起こし、ご紹介していきたいと思っていますので、今後ともご愛読いただけるのを幸いです。あ、広報ボランティアも募集していますので、こちらもぜひ、ご応募お待ちしております!!



広報ボランティアの募集

長浜・御豊瀬・浦戸地域の情報の拠点づくりに一緒に取り組んでいただける「広報ボランティア」を募集します。

申し込みは所定の申込書に必要事項を記入し、地域活性推進課へ提出するか、お電話で。お住まいの地域は問いません。詳しくはホームページをご覧ください。

専門的な知識は不要です。
楽しく技術を学びながら、
一緒に発信しましょう!

Q どんな方が参加できるの?

- 長浜・御豊瀬・浦戸地域の振興に興味がある方
- イラストを描きたい、デザインしたい方
- 伝えることが好きな方、SNSなどを使った情報発信が好きな方
- 何か新しいことに挑戦したい方 など

Q どんな活動をするの?

- 広報会議への参加(月1~2回程度)
- 広報技術の習得(勉強会)
- 地域情報の収集活動
- イベントへの参加 など

ホームページは
こちらから▶

